

呉通信



月刊 No.429

2025 年 6 月 20 日号

KURE BUSINESS NETWORK NEWS

発行：(一社)広島県中小企業家同友会 呉支部
呉 市 中 通 4-4-7 笹 兵 衛 ビル 101
TEL0823-23-9711 FAX0823-23-9141
<https://www.hiroshima.doyu.jp>
編集責任者：広報委員長 白井 健人



2025 年 5 月 17 日（土） 第 7 回「高校生と保護者のための企業ガイダンス」より

呉の中小企業を知ろう！

令和 7 年度 呉支部方針 《スローガン》

**Human First！新時代へ挑戦～人を生
かす経営の総合実践で、企業づくり・未
来づくり**

㊦ 呉支部会員数 **427 名**（2025 年 5 月 28 日現在）
取材先募集中！ ご希望の方は広報委員か事務局まで。

《 TOPICS 》

高校生と保護者のための企業ガイダンス	2
地区役員研修会報告	3
地区会の報告	4～6
委員会＆部会の報告	7
会員名簿アプリ	8

呉支部行事

呉の中小企業を知ろう！

高校生と保護者のための企業ガイダンス

●主催（一社）広島県中小企業家同友会 呉支部 ●共催 呉市 ●後援 広島県教育委員会、呉市教育委員会、呉商工会議所、呉広域商工会、中国新聞社

■開催日 5月17日（土）

■会場 シンヨーオークアリーナ

■来場者 1100名（生徒・保護者・出展者含）

第7回目となる今回は、高校生及び先生方と保護者の来場者数は700名。



会場全体の様子

出展数は同友会会員、会員外企業、行政機関含めて110社。総勢11

00名の参加がありました。以前から学校や行政より「仕事を実際に体験できるようにして欲しい」という要望がありました。初の試みとして、屋外に「体験型ブース」を展示しました。



体験ブースの様子

電力測定と自動車の展示と給電、移動式サービスカーによる出張タイヤ交換の実演、運転席でVR運転体験、測量器機で測量体験など8社

がそれぞれ工夫を凝らしたブースとなりました。最初は戸惑っていた生徒さんが、実際に体験し、「こうなるんだ」という表情が印象的でした。



熱く自社を語るブースの一幕

広島県が5月12日に公表した人口移動統計調査（月報）によると、2024年4月～2025年3月の社会減（海外との流出入含）が、県内23市町で最多の1165人となったことが分かりました。しかし、

同友会も呉市も以前からこのことに関しては危機感を持ち、それ故にこのガイダンスに力を入れて取り組んできました。

地域課題を経営課題として捉え、どう解決していくか。働きがいを持ち安心して働ける魅力ある企業づくりをめざす、そう企業を地域に増やす。そのための活動を支部としても取り組んでいきます。

「地域で育った若者を、地域に残したい！」。次年度に向けてすでに実行委員会も立ち上がり、高校生の皆さんにとって、より実りあるガイダンスにするための準備もスタートしています。



説明を熱心に聞く生徒さん

（記事 事務局 木下）



中里支部長による開会挨拶

■開催日 5月30日(金)
■会場 ビューポートくれ
■出席者 7名(全体で35名)

《広東地区会》 日々変化する世の中 に対応するために

支部行事 地区役員研修会(担当 総務委員会)
「利益を出す」のが経営者の仕事
「人を生かす経営を考える」
報告者 (有)寿木工 代表取締役 住岡 和美 氏(芸南/前支部長)

総務委員会主催の「地区役員研修会」が行われました。
各地区会における例会作りの見本となるような企画として、報告者に芸南地区会より(有)寿木工 代表取締役 住岡 和美氏をお招きし、「利益を出すのが経営者の仕事」をテーマに、労使見解に基づいた自社の経験と経営経験を語っていただきました。



報告者 (有)寿木工 住岡 和美 氏

労使見解とは、経営者側と労働者側における雇用関係の問題ですが、各社の取組みとして整えていかなければならない問題でもあります。

特に中小企業は、経営者と社員さんが近い立場にあるのでいかにして互いの関係を深めるかは企業の発展、成長に大きく影響してきます。報告の中で、グラフを用いての自社分析、コミュニケーション等細部に渡っての取り組みと自社の成長と自身の成長を体现されており、大変貴重な内容でした。
グループ討論では、各社の儲かる仕組みについて話しました。会社の規模や業種によっては各社同じ課題です。



報告中の様子

日々変化する世の中に対応できる経営者になるための貴重な研修会となりました。

(記 株ハマシタ 濱下 貴洋)

書籍「人を生かす経営～中小企業における労使関係の見解」のご案内

A5判 57ページ。価格 500円(税込)。事務局で販売中



本書から学ぶべきことは、経営者の経営姿勢の確立こそ社員との信頼関係を築く出発点、経営指針の成文化とその全社的実践の重要性、社員をもっとも信頼できるパートナーと考え、高い次元の経営をめざし共に育ちあう教育(共育)的人間関係をうちたてること
(「まえがき」より)。

県行事 一般社団法人 広島県中小企業家同友会 第53回定時総会
Human First! 新時代へ挑戦
 ～人を生かす経営の総合実践で、企業づくり・未来づくり

《呉中央地区会》

「いい人を作る」と
 いう理念の本質

■開催日 5月22日（木）
 ■会場 リーガロイヤルホテル広島
 ■出席者 7名（呉中央地区会より）

呉中央地区会の5月例会は県総会への参加でした。

総会は肅々と進行され、その後、私は第1分科会「行動することで見えてきた未来志向の企業づくり」へ出席しました。

報告者の（有）榮成興産 代表取締役社長 板垣多一氏は、地域に根ざした工務店が世代交代を機に、障がい者グループホームの運営という新たな事業分野に取り組まれた事例を学び、大変心を動かされました。この企業は長年にわたり、建築という形で地域社会に貢献してこられた実績がありますが、単なる技術の継承だけにとどまらず、次の世代が自らの視点と問題意識をもって

「福祉」という新たな社会課題に挑戦された姿に、大きな感銘を受けました。



第1分科会報告者の（有）榮成興産 板垣 多一 氏

特に印象的だったのは、企業理念である「いい人を作り・いいものを作り・いい場所をつくる」という言葉の意味が、単なるスローガンではなく、事業のあらゆる面にしっかりと根付いていることです。

これまでは、良質な建築物を提供することで「いいもの」「いい場所」

を作ることには注力されてきたと思いますが、グループホームという形で、建物そのものだけでなく、そこに暮らす人々の人生や日々の安心・尊厳にまで目を向けた事業を展開されている点に、「いい人を作る」という理念の本質を感じました。



第1分科会グループ討論の様子

障がいを持つ方々が地域の中で自分らしく生きるための居場所を作ること、単なる事業展開ではなく、社会的責任と使命感に基づくものだと思います。その根底には、企業として「人」を中心に据えた考え方があり、それが代替わり後もぶれることなく受け継がれていることが、非常に素晴らしいと感じました。このような取り組みを通じて、

「ものを作る」とことと「人や社会を育てる」ことが決して別のものではなく、深く繋がっているのだと実感しました。そしてそれこそが、真に地域に根ざした企業のあり方であり、これからの時代に求められるビジョンなのだと思います。今後は私自身も、日々の業務や活動の中で、「誰のために」「どのような価値を提供するのか」という根本的な問いを忘れずに取り組んでいきたいと強く感じました。理念を掲げるだけでなく、それを実際の行動で体現していくことの大切さを、今回の報告から学ぶことができた貴重な経験でした。

（記 株中谷建設工業

中谷 和紀）

《芸南地区会》

強みを生かし新しい市場を創造

■開催日 5月22日（木）
 ■会場 リーガロイヤルホテル広島
 ■出席者 7名（芸南地区会より）

第1部…総会本会議

総会は定刻通りに開始され、滞りなく進行しました。中でも印象的だったのは、山根翔也さんが県理事に選出され、登壇された場面です。

第2部…分科会とグループ討論
 続く第2部では、第1分科会に参加しました。およそ100名が参加する中で、報告者の板垣多一さんが語られた障害を持つお子さんへの想いと経営への向き合い方には、深い情熱が感じられました。ビジネスを通じて社会的な課題と向き合い、自社の未来を切り拓こうとする姿



県理事就任挨拶を行う山根 翔也 氏

緊張感のある場でも堂々と話されており、その姿に大きな感銘を受けました。コメントも的確かつ力強く、「さすが」と思われるリーダーシップを感じました。参加者の前で落ち着いて発言する姿から、日頃から真摯に取り組まれている姿勢が伺え、今後の県理事としての活躍に大いに期待が持てました。

形式ばらない和やかな雰囲気の中で、支部や地区の垣根を越えて語



会員増強表彰の様子

第3部…懇親会
 懇親会では、普段の例会や分科会とはまた異なる雰囲気の中で、多くの参加者と自由に交流することができました。

勢に心を打たれました。
 また、グループ討論では「ブルーオーシャン戦略」をテーマに活発な議論が交わされました。競争の激しい市場ではなく、自社の強みを活かしながら新しい市場を創出するという考え方に、多くの参加者が関心を示していました。特に指針塾で学んだフレームワークを活用し、事業の方向性を明確にしていくプロセスには多くの学びがありました。

り合う時間は非常に貴重であり、新たなつながりを築く絶好の機会となりました。
 特に印象的だったのは、前年の会員増強における功績者に対する表彰式です。壇上に上がった方々の笑顔やエピソードからは、同友会の発展に向けた地道な努力と情熱が伝わってきました。
 そのような仲間の活躍を称え合う文化が根付いていることに、同友会の魅力と力強さを感じました。
 さらに、普段の勉強会では見ることのできない、参加者一人ひとりの人間味あふれる一面にも触れることができました。お酒を交わしながら語り合う中で、笑顔や冗談が飛び交い、会場には温かい一体感が広がっていました。
 真面目な議論だけでなく、こうしたリラックスした場での信頼関係構築が、今後の活動や協業にもつながる大きな土台になると感じました。

(記) 有土本商会 土本 智

広報委員会からのお願い

呉通信

アンケート募集中

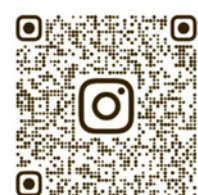


呉支部・青年部Instagramアカウント

フォローお願いします



KURESEINENBU



@KURE_DOYUKAI

《広西地区会》

地区会だからこそ

語れた「悩み」

■開催日 5月16日（金）
 ■会場 同友会呉事務所
 ■出席者 12名

今期初となる広西地区例会は、合同呉運送㈱の小松慎司氏に「社長1年目の報告」と題して体験報告をしていただきました。

タイトルの通り、昨年社長に就任したばかりの小松氏ですが、社長交代のタイミングについては現会長の瀬島氏から、入社当初から話をしていたそうです。

ですが、いざ交代してみると「社長の仕事」として自分が何をすべきか分からず、悩んでいたということでしたが、小松氏は同友会の先輩にアドバイスを受けながら採用活動を改善したり、社員同士のコミュニケーションが活発になるようSNSや会議の方法を改善したりと、社員さんを巻き込んで色々なことに取り組んでおり、参加者からは「1年目としてはよくやっているのではないか」という声も聞かれました。そして、小松氏自身の努力はもちろんです、実はその陰にはこれまでに社内整備をしつかり進めて土壌

を作ってこられた瀬島氏の存在があるのではないかとということもまた話題に上がり、報告者の小松氏も地区会員にとっても広西地区会だからこそできる話せることがたくさんある、実りある例会となりました。



（記 株式会社産業 中田 祥之）

報告中の合同呉運送㈱ 小松 慎司 氏

《広北地区会》

「人間尊重」の

経営哲学を学ぶ

■開催日 5月19日（月）
 ■会場 シンヨーオークアリーナ
 ■出席者 19名

広北地区会の5月例は、㈱中組の小川誠氏を報告者に迎えて、「同友会の本質とは？」をテーマに深い学びの場が展開されました。

今回の例会では、同友会の原点に立ち返り、その理念と歴史に触れることが主軸となっていました。

戦後日本の「民主化」の流れの中で、企業経営にも「人間尊重」や「労使対等」といった思想が求められてきました。

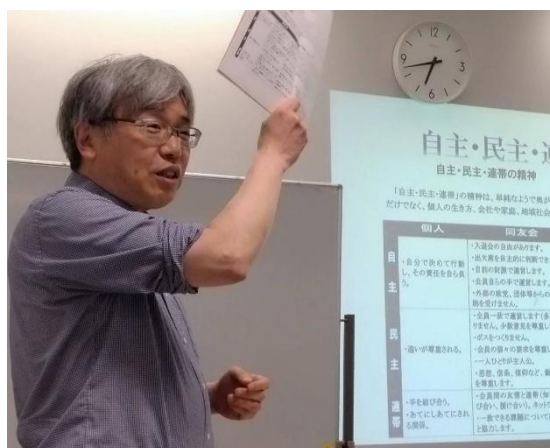
同友会は1957年に発足し、1973年には三つの理念を成文化しました。これは、国家への依存ではなく、経営者自身の学びと仲間との連帯を通じた自立支援を重視するものです。

小川氏は、労使見解の重要性についても触れ、個人事業主や家族経営においても「労使関係」の視点を持つことの大切さを語られました。

企業活動は顧客との信頼関係の上に成り立ち、その継続こそが地域社会への貢献につながるという視点は、経営者にとって改めて心に留

めるべき重要なポイントです。

後半のグループ討論では、「成長と発展のためのロードマップ」をもとに、自社の現状を見つめ直し、今後の方向性を考察する時間が設けられました。参加者同士の活発な意見交換は、同友会ならではの学びと刺激を提供し、それぞれの経営に新たな視点をもたらしたに違いありません。



（記 大栄運輸㈱ 山根 翔也）

報告中の㈱中組 小川 誠 氏

経営労働委員会&青年部会 合同例会 指針なき経営は、羅針盤なき航海 〜経営労働委員会を活用しよう〜

■開催日 5月21日(水)
■会場 呉森沢ホテル
■参加者 41名

《青年部会の感想記事》 同友会の「一丁目 一番地」を学ぶ

今年度最初の呉支部青年部例会は、「指針なき経営は、羅針盤なき航海〜経営労働委員会を活用しよう〜」と題しまして、同友会活動の一丁目一番地と呼ばれる経営労働委員会の活動や、自社の羅針盤ともいえる経営指針書にフォーカスを当てた例会を実施いたしました。

前半は、広島中支部所属で青年部OGでもある(有)ベルエール 金口氏に、実体験を通して学んだことや感じたことをご報告いただきました。

後半は、呉支部の経営労働委員長である松栄産業(株) 土井氏に補足説明をいただき、経営労働委員会の活動内容や指針書の重要性や必要性についてご説明いただきました。

報告を聞く中で、お二人のご報告に共通している点がありました。

それは、経営労働委員会の活動や指針書作りは決して一人で孤独に行うものではないという点でした。

経営者や経営従事者である我々にとって、熱い思いをもったサポーターや委員会の方々が全力でフォローしてくださる環境があることは非常にありがたいことだと思います。



報告者 (有)ベルエール 金口 志織 氏

本例会をきっかけに、この環境を生かし自社をより良いものにするために、経営労働委員会へ参加し

てくれる方が一人でも増えれば幸いです。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

今年度も、咲き誇っていきましよう!!

(記 株エピック

石田 健太郎)

《青年部会広報委員の感想記事》 なぜ経営指針は 必要なのか?

「指針なき経営は、羅針盤なき航海」が呉森沢ホテルにて開催されました。

この例会では、幹事会と経営労働委員会が協力し、青年部メンバーの経営に対する危機感を拾い上げるため、経営指針をテーマに議論の場を企画していただきました。

まず、広島中支部所属で、第8期「ひろしま経営指針塾オブザイヤー」を受賞された(有)ベルエールの金口志織氏をゲストに迎え、経営指針書を作成した背景やその重要性について学びました。

また、松栄産業(株) 代表取締役である土井康弘氏より、経営労働委員

会の活用方法や基礎・基本を学ぶための温かいメッセージをいただきました。

その後のグループ討論では、「想い成文化シート」を用いて、参加者同士が意見を交換し合いました。



合同勉強会全体の様子

(記 みずば農園 水場 大輔)



広島県中小企業家同友会 会員名簿がアプリになって使いやすくなりました。

今まで冊子で発行されていた同友会会員名簿がアプリになって使いやすくなりました。

下記よりアプリをダウンロードしてお使いください。

iOS (iPhone等) 版



Android版



App Store



Playストア

または

iOS (iPhone等)は「App Store」
Androidスマホ等は「Playストア」
で「同友会」「検索」とすると
上位に会員名簿アプリが出てきます。

ログイン



e.doyu
初回は、e.doyuのユーザーIDとパスワードでログイン（次回より不要※2）
当アプリで例会出欠の回答等できるので便利



各種機能

表示グループの選択
「県全体」や「支部」、「地区会」、「委員会」と見たいグループの選択が可能

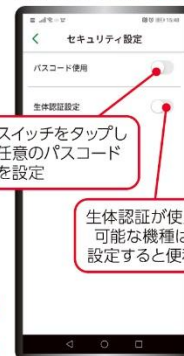


メッセージ
ダウンロードしている人とメッセージの送受信が可能（グループも作成可能）

各種設定



※1
セキュリティ設定
設定すると次回からパスコードのみでアプリが使用可能なので便利※2



会員情報編集
写真の追加や事業内容等
各項目を自分で編集可能



★アプリ使用方法等、ご質問は
同友会事務局までお問い合わせください。

会員IDをお忘れの方は下記までお問い合わせください



広島県中小企業家同友会 呉支部
呉市中通4-4-7 笹兵衛ビル 101 ☎0823-23-9711

※1）スマホ紛失時の情報漏洩防止対策のためセキュリティ設定を推奨しています。 ※2）ログアウトをせず、アプリを終了した場合